

令和3年2月22日

兵庫県内の飲食事業者の皆様

兵庫県新型コロナウイルス感染症対策本部  
本部長（兵庫県知事） 井戸 敏三

## 業種別ガイドライン等に基づく感染防止対策の推進について（依頼）

飲食事業者の皆様には、営業時間の短縮等にご理解、ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

感染拡大の防止には、個別の店舗等での業種別ガイドライン等に基づいた対策が重要であり、従前からガイドラインの遵守をお願いしているところです。

なお、国では、特にアクリル板を用いた仕切りの設置又は最低1mの間隔を空けたテーブル・座席の配置、適切な換気を実施するためのCO2センサーの設置について、推奨をしています。

皆様におかれては、貴店舗における業種別ガイドライン等に基づく感染防止対策について、今一度ご確認くださいませようお願いします。

### 記

- 業種別ガイドライン（業種ごとの感染拡大予防ガイドライン）  
※内閣官房ホームページ（<https://corona.go.jp/prevention/>）に掲載
- 感染リスクが高まる「5つの場面」
- 兵庫県知事からのメッセージ「感染再拡大防止の徹底について」（2月22日）

### お問い合わせ先

◆兵庫県新型コロナウイルス感染症対策本部事務局  
（兵庫県企画県民部災害対策局災害対策課）

TEL：078-362-9833

# 感染リスクが高まる「5つの場面」

## 場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



## 場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



## 場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



## 場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



## 場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



# 感染再拡大防止 の徹底について

緊急事態宣言の発令から約1か月半が経ち、皆様のご協力により、新規感染者は確実に減少し、医療提供体制も改善の兆しが見られます。そこで、本日、対策本部会議を開催し、京都府及び大阪府と連携して国に対して緊急事態宣言の解除を要請することを決定しました。解除された場合、飲食店等に対する営業時間短縮の要請を段階的に緩和していきます。

緊急事態宣言発令中	緊急事態宣言解除後
飲食店等は、 <b>20時までの営業、酒類の提供は19時まで</b> をお願いします。	飲食店等は、 <b>21時までの営業、酒類の提供は20時まで</b> をお願いします。

## 県民の皆様へのお願い（家庭、施設等へのウイルス持込み防止）

年度末を控え、今ここで対策を緩めると、行事等を通じて感染が再拡大するおそれがあります。県民の皆様、特に若い方々には、**ご自身の健康や行動に注意**していただき、家庭や施設等に**ウイルスを持ち込まないよう**、引き続き、次の取組にご理解、ご協力をお願いします。

- 日中も含めた**不要不急の外出の自粛**を強くお願いします。
- **不要不急の都道府県間の移動**や、**緊急事態宣言対象地域**をはじめ**リスクのある場所への出入り**を自粛してください。
- **家庭内も含め、大人数での飲食**や**長時間に及ぶ飲食を控える**とともに、**食事中の会話を極力控えて**ください。
- **卒業旅行、謝恩会、歓送迎会、花見による宴会**などを控えるようお願いします。
- 毎日の**検温**、手洗い、マスクの着用など**健康管理を徹底**し、発熱、息苦しさ、味覚の異常など**症状のある場合は、出勤、通学等を控える**とともに、すぐにかかりつけ医などに**電話で相談**してください。
- **在宅勤務（テレワーク）**に積極的に取り組むなど**出勤抑制**にご協力をお願いします。

皆様一人ひとりが「うつらない・うつさない」との強い思いで取り組むことが大切です。医療・福祉従事者はじめ、県民の健康や暮らしを支えている方々には、心より感謝申し上げます。ともにこの難局を乗り越えましょう。

令和3年2月22日

兵庫県知事 井戸敏三